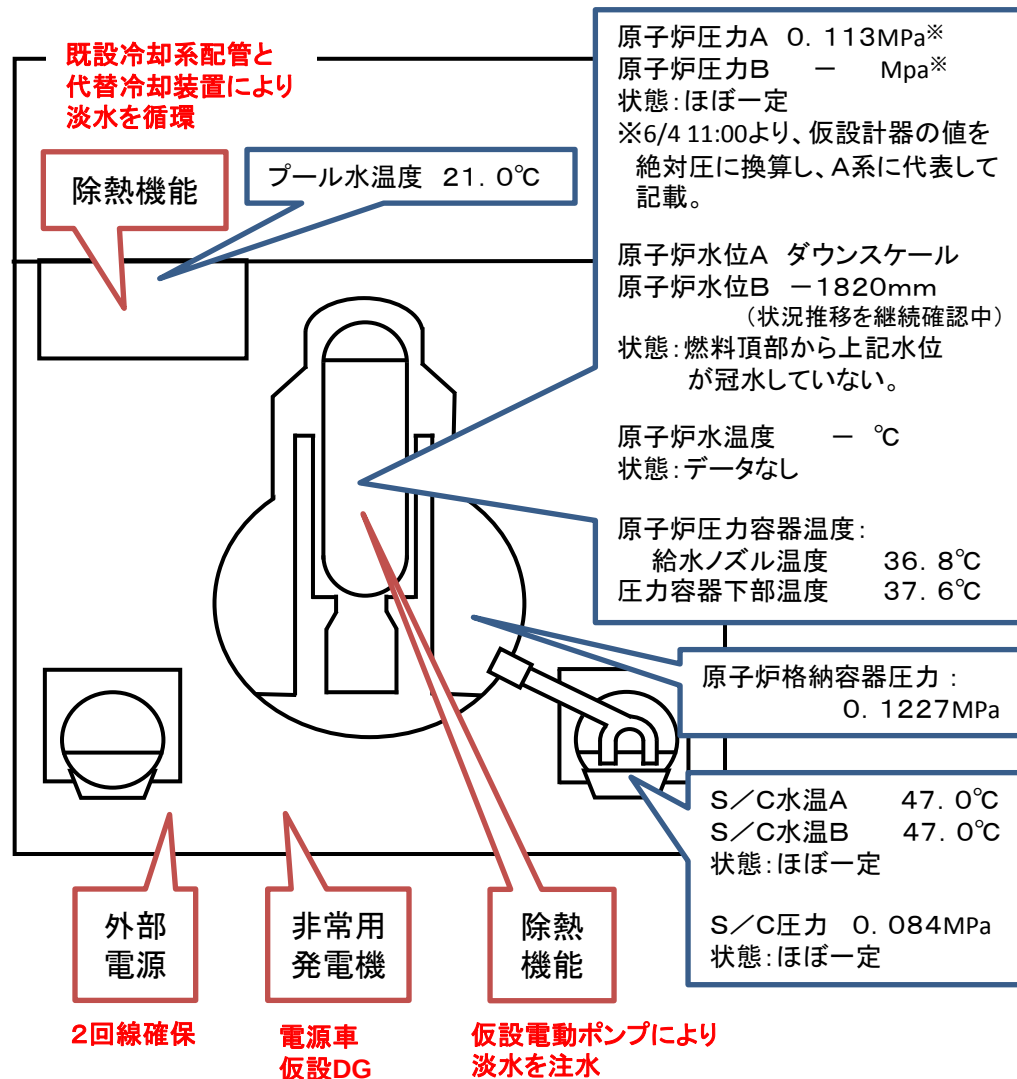


福島第一原子力発電所1号機の状況 (11月15日 12:00現在)

主要な出来事1/5



現状: プール及び炉心への注水を継続

- 3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
- 3/11 15:42 10条通報(全交流電源喪失)
- 3/11 16:36 15条事象の発生(非常用炉心冷却装置注水不能)
- 3/12 00:49 15条事象の発生(格納容器圧力異常上昇)
- 3/12 10:17 ベント開始
- 3/12 15:36頃 爆発音
- 3/12 19:04 海水及びホウ酸の炉心注水開始
- 3/23 02:33 消火系に加え、給水系を使うことにより炉心への注水量増量
(2m³/h → 18m³/h)。9:00に給水系のみに切替(18m³/h → 11m³/h)
- 3/24 11:30頃 中央制御室の照明復帰
- 3/25 15:37 淡水の炉心注水開始
- 3/29 08:32 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
- 3/31 12:00～4/2 15:26 復水貯蔵タンク(CST)からサプレッションプール水サージ
タンク(SPT)へ移送開始
- 4/3 11:50 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
- 4/3 13:55 復水器からCSTへ移送開始
- 4/6 22:30 原子炉格納容器への窒素封入操作開始
- 4/7 01:31 原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 4/9 04:10 原子炉格納容器への窒素封入を高純度窒素発生装置に切替
- 4/10 09:30 復水器からCSTへの移送完了
- 4/11 17:16頃 地震発生(福島県浜通り)により外部電源が喪失するとともに
炉心注水及び原子炉格納容器への窒素封入停止
- 4/11 17:56 外部電源復旧
- 4/11 18:04 炉心注水再開
- 4/11 23:19 原子炉格納容器への窒素封入操作開始
- 4/11 23:34 原子炉格納容器への窒素封入開始を確認
- 4/17 11:30～17:30頃 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
- 4/18 11:50～12:12 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポン
プを停止
- 4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連系強化作業が完了
- 4/25 10:57～18:25 電源強化工事のため、炉心注水ポンプの電源を一時外部電源か
ら仮設D/Gに切替
- 4/25 14:10～19:10 電源強化工事に伴い、窒素封入を一時停止
- 4/25 14:44～17:38 電源強化工事(1,2号機と5,6号機間の電源連系)を実施
- 4/26 11:35～13:24頃 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施

主要な出来事2/5

4/27 10:02 炉心注水量を6m³/hから最大14m³/hまで段階的に変化させる操作を開始、10m³/hにて注水を継続後、6m³/hに戻す(4/29 10:14)

4/29 11:36～14:05 原子炉建屋において、無人口ロボットによる状況確認等を実施

5/2 12:58～14:53 炉心注水ポンプへの警報設置のため、消防ポンプによる炉心注水を一時切替

5/5 16:36～5/8 20:02 原子炉建屋作業環境改善のため、局所排風機全台(6台)を運転

5/6 10:01 炉心注水量を6m³/h から8m³/hに変更

5/8 20:08 排気ダクトの切断により通気

5/9 4:17 原子炉建屋の二重扉を開放

5/9 5:10 正圧ハウスの解体

5/10 10:55頃 原子炉圧力容器の水位計を校正

5/11 8:47～15:55 大熊線2号線の復旧に伴い、炉心注水ポンプの電源を仮設ディーゼル発電機に一時切替(復旧後は同系統から一部受電)

5/11 8:50～15:58 大熊線2号線の復旧に伴い、窒素封入を一時停止

5/11 9:50～11:14 原子炉圧力容器の水位状態を確認、原子炉格納容器圧力計を校正

5/13 16:01～17:39 原子炉建屋において、遠隔操作ロボットによる現場確認を実施

5/14 15:07～15:18 コンクリートポンプ車により使用済燃料プールへ放水(強風の影響により中止)

5/15 13:28 炉心注水量を約8m³/h から約10m³/hに変更

5/17 11:50 炉心注水量を約10m³/hから約6m³/hに変更

5/20 9:30～12:15 原子炉建屋に入域し、水位監視と線量測定を実施。

5/25 9:14～9:18、15:16～15:18 電源切り替えに伴い、窒素封入を一時停止

5/25 15:45 窒素供給用コンプレッサーが停止していることを確認。19:44に予備機に切り替え封入再開

5/27 10:30～12時頃及び15時頃 原子炉建屋に入域し、原子炉建屋滞留水の水位計取り付け、地下滞留水サンプリング及び使用済燃料プールへのホース布設を実施

5/28 16:47～17:00 燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水を注水するため、リークテストを実施

5/31 20:30 炉心注水量を約6m³/hから約5m³/hに変更

6/3 10:38～12:21 仮設原子炉圧力計を設置

6/3 15:00頃～17:00頃 原子炉建屋において、無人口ロボットによる状況確認等を実施

6/4 9:57～13:56 炉心注水ラインのルート変更作業に伴い、冷却水注入を一時停止(10:02～13:43 消防ポンプによる炉心注水を実施)

6/8 14:57～17:54 パワーセンター2C停止に伴い窒素封入を一時停止

6/13 14:58～17:43 復水器からタービン建屋地下へ溜まり水を送る

6/14 14:09 炉心注水ポンプを消防ポンプに切替

6/14 15:35～15:50 炉心注水用のホースの取替のため炉心注水を一時停止

6/15 10:06 炉心注水量を約5m³/hから約4.5m³/hに変更

6/15 10:33～6/16 9:52 復水器からCSTへ移送を実施

主要な出来事3/5

6/19 10:35～15:47 大熊線2号線の停止作業の準備のため、炉心注水ポンプの電源を一時D/Gに切替

6/19 11:48～16:05 大熊線2号線の停止作業の準備のため、窒素封入を一時停止

6/21 10:02 炉心注水量を約4.5m³/hから約4.0m³/hに変更

6/21 11:55～18:03 仮設変圧器設置作業のため、窒素封入を一時停止

6/22 10:02 炉心注水量を約4.0m³/hから約3.5m³/hに変更

6/23 18:27 1号機用炉注水ポンプにより、1号機及び2号機の炉注水を開始

6/27 8:08～14:38 大熊線2号線の復旧作業のため、炉心注水ポンプの電源を一時D/Gに切替

6/27 8:51～15:07 大熊線2号線の復旧作業のため、窒素封入を一時停止

6/27 16:20 原子炉の注水について、ろ過水タンクからの注水に加え、水処理設備で処理した水の利用を開始。配管からの漏えいを発見し、処理した水の供給停止(17:55)。処理水移送ポンプ起動(6/28 14:36)。処理した水の供給再開(6/28 15:55)

6/29 10:59～13:33 原子炉への循環注水冷却について、注水冷却用配管の漏えいを発見したため、処理水の供給を一時停止

7/1 7:27～7/2 14:22 バッファタンクの設置・接続作業のため、処理水側の給水を一時停止(7/2 14:22～18:00 リークチェックに伴うバッファタンクから炉心へ試験注水 18:00～本格注水)

7/4 8:50 炉心注水量が3.0m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

7/14 5:30 炉心注水量が3.2m³/hまで低下したため、3.5m³/hに調整

7/15 8:55 炉心注水量が3.2m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

7/17 10:06 炉心注水量が3.0m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

7/17 14:25 炉心注水ポンプ1号から2号に切替後、4.0m³/hに調整

7/19 10:10 炉心注水量を3.8m³/hに調整

7/24 11:10 炉心注水量が3.3m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

7/24 20:00 窒素供給用コンプレッサーを、2、3号機に供給しているコンプレッサーからの供給に切替

7/27 18:10 炉心注水量を注水ポンプ1台で3.8m³/hに調整

7/29 10:37～12:50 原子炉格納容器内の気体のサンプリング作業を実施

7/30 11:57 炉心注水量が3.4m³/hまで低下したため、3.6m³/hに調整

7/31 5:01 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.6m³/hに調整

8/3 5:52～8:33 窒素封入装置の予備機入替のため、窒素封入を一時停止

8/5 9:02 炉心注水量が3.4m³/hまで低下したため、3.9m³/hに調整

8/10 8:32 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

8/10 11:22 使用済燃料プールの代替冷却装置の本格運転開始

8/10 12:20 炉心注水量が4.0m³/hまで増加したため、3.8m³/hに調整

8/12 1:21 仮設電源盤Bの制御用充電器の遮断器開放及び制御用電源のバッテリーの電圧が低下したため、充電器及びバッテリーの交換を実施

8/12 3:52 炉心注水量が3.2m³/hまで低下したため、3.9m³/hに調整

8/13 19:36 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

9/1 15:20 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整

主要な出来事4/5

主要な出来事5/5

9/3 9:40 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整
 9/7 14:53 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整
 9/11 17:40 炉心注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整
 9/13 18:07 原子炉注水量が3.6m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整
 9/14 9:15～12:10 原子炉格納容器内のガスサンプリングを実施
 9/14 9:53～9/16 14:35 復水器からタービン建屋地下へ溜まり水を移送
 9/21 11:40 原子炉注水量が3.7m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整
 10/6 9:28 原子炉注水量が3.5m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整
 10/7 11:44～14:03 原子炉建屋内機器ハッチ開口部、大物搬入口でダストサンプリングを実施
 10/8 12:12～13:22 CCS系配管の窒素パージを実施
 10/9 10:25～11:30 CCS系配管の窒素パージを実施
 10/9 13:09～14:14 水素濃度が1%以上だったため、CCS系配管の窒素パージを再実施
 10/9 15:15～17:07 CCS系配管の窒素パージを再開
 10/9 17:07～22:30 CCS系配管の窒素パージを継続しながら、配管切断作業を実施
 10/9 23:05～23:10 ポリキャップをテープ養生による閉止作業を実施
 10/10 00:04～00:37 閉止板の溶接作業を実施
 10/12 14:17～15:17 原子炉建屋機器ハッチ開口部、大物搬入口でダストサンプリングを実施
 10/22 10:35～10/24 9:07 タービン建屋地下から2号機タービン建屋地下へ溜まり水を移送
 10/25 14:22 原子炉注水量が3.4 m³/hまで低下したため、3.8m³/hに調整。
 10/25 17:31～10/26 14:01 タービン建屋地下から2号機タービン建屋地下へ溜まり水を移送
 10/25 17:48 原子炉注水量の低警報が発生し、3.0 m³/hまで低下していることを確認。そのため、注水量を3.8m³/hに調整(同日18:10)
 10/26 9:47 電源強化工事に伴い常用高台ポンプを停止するため、非常用高台ポンプへの切り替えにあわせて原子炉注水量を3.8m³/hに調整。その後、非常用高台ポンプから常用高台ポンプへの切り替え完了(同日16:10)
 10/26 13:17～15:15 原子炉格納容器ガス管理システム設置工事のため、格納容器スプレー系と原子炉停止時冷却系の接続部付近において配管を切断
 10/28 9:30～13:30 原子炉注水量調整弁設置工事のため、原子炉注水ポンプを常用から非常用へ切替
 10/28 原子炉建屋カバー完成
 10/28 16:10 原子炉注水量を4.5m³/hに変更
 10/29 16:30 原子炉注水量を5.5m³/hに変更
 10/30 15:05 原子炉注水量を6.5m³/hに変更
 10/31 14:59 原子炉注水量を7.5m³/hに変更
 11/4 13:35～14:35 原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施
 11/4 15:48～11/6 9:41 タービン建屋地下から2号機タービン建屋地下へ溜まり水を移送
 11/8 15:29～16:35 電源強化工事のため、窒素封入装置をDG電源駆動の装置へ切替
 11/9 5:43～22:29 電源強化工事のため、使用済燃料プール代替冷却装置停止

11/9 19:44～20:25 電源強化工事終了に伴い、窒素封入装置をDG電源駆動の装置から常用へ切替

11/9 20:20 原子炉建屋カバー排風機起動

11/11 15:42～11/13 10:45 タービン建屋地下から2号機タービン建屋地下へ溜まり水を移送

<コンクリートポンプ車により使用済燃料プールへ淡水放水>
 3/31 13:03～16:04、5/20 15:06～16:15、5/22 15:33～17:09

<燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水注水(仮設電動ポンプ)>
 5/29 11:10～15:35、6/5 10:16～10:48、7/5 15:10～17:30、8/5 15:20～17:51、
 8/10 8:59～9:19、8/12 15:20～15:55、9/5 14:35～15:05、10/29 9:47～10:19

福島第一原子力発電所2号機の状況

(11月15日 12:00現在)

主要な出来事1/6

既設冷却系配管と
代替冷却装置により
淡水を循環

除熱機能

プール水温度 22.7℃

原子炉圧力A 0.108MPa※
原子炉圧力B — MPa※
※6/24 20:00より、仮設計器の値を絶対圧に換算し、A系に代表して記載。

状態: ほぼ一定
※: 絶対圧に換算

原子炉水位A ダウンスケール
(状況推移を継続確認中)

原子炉水位B — 2113mm
(状況推移を継続確認中)

状態: 燃料頂部から上記水位
が冠水していない。

原子炉水温度 — °C
状態: データなし

原子炉圧力容器温度:
給水ノズル温度 66.1°C
圧力容器下部温度 69.8°C

原子炉格納容器圧力:
0.109MPa
※7/16 5:00より、データ記
載計器を変更
※10/29以降計算誤りがあり、
11/11より正しいデータを記載

S/C水温A 49.6°C
S/C水温B 49.5°C
状態: ほぼ一定

S/C圧力 ダウンスケール
(計器不良)

原子炉格納容器内
水素濃度: 1.3%
(11/15 11:00現在)

サプレッションプール損傷の可能性あり

外部
電源

非常用
発電機

除熱
機能

2回線確保

電源車
仮設DG

仮設電動
ポンプにより
淡水を注水

現状: プール及び炉心への注水を継続

- 3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
3/11 15:42 10条通報(全交流電源喪失)
3/11 16:36 15条事象の発生(非常用炉心冷却装置注水不能)
3/13 11:00 ベント開始
3/14 13:25 15条事象の発生(原子炉冷却機能喪失)
3/14 16:34 海水の炉心注水開始
3/14 22:50 15条事象の発生(格納容器圧力異常上昇)
3/15 00:02 ベント開始
3/15 06:10 爆発音発生
3/15 06:20頃 サプレッションプール(圧力抑制室)異常発生のおそれ
3/20 15:46 パワーセンター受電
3/21 18:20 白煙が発生。22日7:11にほとんど見えない程度に減少
3/26 10:10 淡水の炉心注水開始
3/26 16:46 中央制御室の照明復帰
3/27 18:31 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
3/29 16:45~4/1 11:50 復水貯蔵タンク(CST)からサプレッションプール水サージタンク(SPT)へ移送
4/2 09:30頃 取水口付近のピットに1000mSv/hを超える水が溜まっていること及びピット側面から、
水が流出していることを確認
4/2 17:10 復水器からCSTへ移送開始
4/3 11:50 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
4/3 13:47~14:30 ピット内に、おがくず20袋、高分子吸収材80袋、裁断処理した新聞紙3袋を投入
4/4 07:08~07:11 トレーサー(入浴剤)約13kgを海水配管トレンチ立坑から投入
4/5 14:15 トレーサーが立坑周辺の隙間から海へ流出していることを確認。15:07から凝固剤の注
入開始
4/6 05:38頃 ピット側面からの水の流出が止まったことを確認
4/9 13:10 復水器からCSTへの移送完了
4/11 17:16頃 地震発生(福島県浜通り)により外部電源が喪失するとともに炉心注水停止
4/11 17:56 外部電源復旧
4/11 18:04 炉心注水再開
4/12 19:35~4/13 17:04 タービン建屋トレンチから復水器へ滞留水を移送
4/13 11:00 漏えい確認等のため一時停止
4/16 11:19頃 地震発生(茨城県南部)
4/18 13:42~14:33 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
4/18 12:13~12:37 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
4/18 9:30~17:40 電源トレンチ内に止水剤(水ガラス)を注入
4/19 8:00~15:30 電源トレンチ内に止水剤(水ガラス)を注入
4/19 10:08 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水の移送開始
4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了

主要な出来事2/6

主要な出来事3/6

4/25 10:57～18:25 電源強化工事のため、炉心注水ポンプの電源を一時外部電源から仮設D/Gに切替

4/25 14:44～17:38 電源強化工事(1,2号機と5,6号機間の電源連系)を実施

4/29 9:16 移送設備点検等のため、タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送を一時中断。4/30の14:05から移送再開

5/1 13:35～ トレンチ立坑の閉塞作業を開始

5/2 12:58～14:53 炉心注水ポンプへの警報設置のため、消防ポンプによる炉心注水に一時切替

5/7 9:22 3号機の原子炉給水系配管の工事のため、タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送を一時中断。16:02から移送再開

5/10 9:01～5/12 15:20 3号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設への移送配管敷設のため、タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送を一時中断

5/11 8:47～15:55 大熊線2号線の復旧に伴い、炉心注水ポンプの電源を仮設ディーゼル発電機に一時切替(復旧後は同系統から一部受電)

5/18 9:24～9:38 原子炉建屋内の事前調査を実施

5/25 9:05～15:30 電源切り替えに伴い、タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送を一時中断

5/26 14:45～5/27 14:30 原子炉給水系配管の工事のため、復水器の水をタービン建屋地下へ移送

5/26 15:19～15:32 原子炉建屋内の事前調査を実施

5/26 16:01 タービン建屋トレンチからの集中廃棄物処理施設への滞留水の移送を中断(同施設の水量が地下1階床面に近づいたため)

5/29 11:33 消火系配管からの炉心注水に加え、給水系配管からも炉心注水開始

5/30 11:15 使用済燃料プール代替冷却装置2次系のリークテストを実施。15:02から2次系試運転を開始

5/30 18:05 消火系配管からの炉心注水を停止

5/31 11:40 使用済燃料プール代替冷却装置1次系のリークテストを実施

5/31 17:21 使用済燃料プール代替冷却装置の本格運転開始

6/3 13:49～14:09 炉心注水ラインのルート変更作業に伴い、冷却水注入を一時停止

6/3 18:39～6/4 12:28 タービン建屋トレンチから復水器へ滞留水を移送

6/4 18:39～6/16 8:40 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送

6/8 15:40～18:03 パワーセンター2C停止に伴いタービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送が一時停止

6/11 11:45～12:19 原子炉建屋の局所排風機の試運転を実施

6/11 12:42～ 原子炉建屋の局所排風機の本格運転を開始

6/14 12:14～12:37 炉心注水用ホースの取替のため炉心注水を一時停止

6/17 14:20～14:59 タービン建屋トレンチから1号機の復水器へ滞留水を移送(ポンプの不具合により停止)

6/19 10:49～15:35 大熊線2号線の停止作業の準備のため、炉心注水ポンプの電源を一時D/Gに切替

6/19 11:03～16:00 大熊線2号線の停止作業の準備のため、SFP代替冷却装置を一時停止

6/19 12:12～16:22 大熊線2号線の停止作業の準備のため、局所排風機を一時停止

6/19 20:51 原子炉建屋の二重扉を微開。6/20 5:00から全開。

6/20 13:37～6/21 17:09 タービン建屋トレンチから1号機の復水器へ滞留水を移送

6/20 14:30 原子炉建屋の大物搬入口内外扉を開放

6/21 10:04 炉心注水量を約5.0m³/hから約4.5m³/hに変更

6/21 13:15～13:25 原子炉建屋内の事前調査を実施

6/22 9:56～7/7 15:00 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送

6/22 10:04 炉心注水量を約4.5m³/hから約4.0m³/hに変更

6/23 10:36～12:36 仮設原子炉圧力計の設置作業を実施

6/23 18:27 1号機用炉注水ポンプにより、1号機及び2号機の炉注水を開始

6/24 6:58頃 原子炉建屋開口部から出ているダストを採取していた無人ヘリコプターが原子炉建屋屋上に不時着

6/27 8:08～14:38 大熊線2号線の復旧作業のため、炉心注水ポンプの電源を一時D/Gに切替

6/27 8:23～16:53 大熊線2号線の復旧作業のため、SFP代替冷却装置を一時停止

6/27 9:02～17:07 大熊線2号線の復旧作業のため、タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への滞留水の移送停止

6/27 16:20 原子炉の注水について、ろ過水タンクからの注水に加え、水処理設備で処理した水の利用を開始。配管からの漏えいを発見し、処理した水の供給停止(17:55)。処理水移送ポンプ起動(6/28 14:36)。処理した水の供給再開(6/28 15:55)

6/28 20:08 窒素封入開始

6/29 10:59～13:33 原子炉への循環注水冷却について、注水冷却用配管の漏えいを発見したため、処理水の供給を一時停止

7/1 7:27～7/2 14:22 バッファタンクの設置・接続作業のため、処理水側の給水を一時停止(7/2 14:22～18:00 リークチェックに伴うバッファタンクから炉心へ試験注水 18:00～本格注水)

7/8 10:34～13:49 原子炉建屋2階及び3階においてロボットによる空気中の放射性物質のサンプリングを実施

7/8 10:44～12:30 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設への移送ラインをフラッシング

7/13 10:09～7/15 11:02 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送

7/15 8:22～11:47 使用済燃料プール代替冷却装置の冷却塔を停止

7/16 10:56～7/21 16:04 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送

7/17 14:25 炉心注水ポンプ1号から2号に切替後、4.0m³/hに調整

7/19 10:10 炉心注水流量を3.8m³/hに調整

7/22 8:43 原子炉注水量が3.4m³/hまで低下したことから、3.8m³/hに調整

7/22 16:56～7/29 9:43 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送

7/23 9:35 原子炉注水量が3.2m³/hまで低下したことから、3.8m³/hに調整

7/27 18:10 原子炉注水量を注水ポンプ1台で3.5m³/hに調整

7/28 17:30 原子炉注水量が3.2m³/hまで低下したことから、3.6m³/hに調整

7/30 11:57 原子炉注水量が3.3m³/hまで低下したことから、3.6m³/hに調整

7/30 16:10～8/2 18:49 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送

7/31 5:01 炉心注水流量が3.2m³/hまで低下したことから、3.7m³/hに調整

主要な出来事4/6

主要な出来事5/6

8/3 5:52～8:29 窒素封入装置の予備機入替のため、窒素封入を一時停止
 8/4 7:09～8/9 16:56 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送
 8/4 17:50 原子炉注水量が $3.2\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/9 10:39～11:13 原子炉格納容器内の気体のサンプリング作業を実施
 8/10 8:32 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/10 12:20 原子炉注水量が $4.0\text{m}^3/\text{h}$ まで増加したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/10 16:47～8/16 11:43 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送
 8/12 1:21 仮設電源盤Bの制御用充電器の遮断器開放及び制御用電源のバッテリーの電圧が低下したため、充電器及びバッテリーの交換を実施
 8/12 19:30 原子炉注水量が $3.5\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/15 21:48 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/17 15:46 原子炉注水量が $3.5\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/18 16:19～8/25 10:03 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送
 8/19 15:30 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 8/25 10:03～8/30 9:31 タービン建屋トレンチから雑固体廃棄物減容処理建屋へ滞留水を移送
 8/30 9:39～9/13 9:35 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送
 8/30 18:56 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/2 7:17 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したことから、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/3 9:40 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/6 10:03～10:42 使用済燃料プール代替冷却装置2次系冷却塔の水槽清掃のため、冷却を停止
 9/6 10:11～14:54 復水器にあるたまり水をタービン建屋へ移送
 9/6 16:27 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/7 10:00～16:07 復水器にあるたまり水をタービン建屋へ移送
 9/7 14:55 原子炉注水量が $3.5\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/8 22:33 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/11 17:40 原子炉注水量が $3.5\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/13 9:51～10/4 13:16 タービン建屋トレンチから雑固体廃棄物減容処理建屋へ滞留水を移送
 9/13 18:07 原子炉注水量が $3.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/14 14:59 コアスプレー系ラインから原子炉への注水流量の調整を開始。その後、流量を $1.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整(9/15 15:25)
 9/15 15:45 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $1.0\text{m}^3/\text{h}$ から $2.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/16 9:11 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量が $1.8\text{m}^3/\text{h}$ に低下していたため、 $2.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/16 15:35 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $2.0\text{m}^3/\text{h}$ から $3.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/17 13:55～14:34 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入
 9/19 15:16 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $3.0\text{m}^3/\text{h}$ から $4.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/21 11:40 給水系から原子炉への注水量を $3.5\text{m}^3/\text{h}$ から $4.0\text{m}^3/\text{h}$ に、コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $4.1\text{m}^3/\text{h}$ から $4.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 9/22 15:36 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $4.0\text{m}^3/\text{h}$ から $5.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整

9/26 15:05 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $5.0\text{m}^3/\text{h}$ から $6.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/4 15:00 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を $6.0\text{m}^3/\text{h}$ から $7.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/5 10:31～11:27 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入
 10/6 12:30 原子炉格納容器への窒素封入量を約 $13.5\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/6 13:48～10/12 9:07 移送ルートを変更し、タービン建屋トレンチから雑固体廃棄物減容処理建屋へ滞留水を移送
 10/6 17:38 給水系から原子炉への注水量を $3.4\text{m}^3/\text{h}$ から $3.8\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/13 14:17～10/18 9:10 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送
 10/18 17:55 原子炉格納容器への窒素封入量を約 $14\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/20 10:12～10/28 9:32 タービン建屋トレンチから集中廃棄物処理施設へ滞留水を移送
 10/25 18:52 給水系から原子炉への注水量を $2.7\text{m}^3/\text{h}$ から $3.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/26 9:47 電源強化工事に伴い常用高台ポンプを停止するため、非常用高台ポンプへの切り替えにあわせて原子炉注水量を給水系で $3.0\text{m}^3/\text{h}$ 、コアスプレー系で $7.0\text{m}^3/\text{h}$ にそれぞれ調整。その後、非常用高台ポンプから常用高台ポンプへの切り替え完了(同日16:10)
 10/26 13:05～13:42 原子炉格納容器ガス管理システム設置工事のため、可燃性ガス濃度制御系の窒素パージ作業を実施
 10/27 9:55～14:35 原子炉注水量調整弁設置工事のため、原子炉注水ポンプを常用から非常用へ切替
 10/28 9:54～10/31 10:02 タービン建屋トレンチから雑固体廃棄物減容処理建屋へ滞留水を移送
 10/28 18:00 原子炉格納容器ガス管理システム運用開始
 10/29 18:10 原子炉格納容器への窒素封入量を約 $16.5\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 10/30 18:10 原子炉格納容器への窒素封入量を約 $21.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整
 11/1 11:23～13:23 原子炉建屋開口部のダストサンプリングを実施。
 11/1 15:50 給水系から原子炉への注水量が $2.4\text{m}^3/\text{h}$ まで低下したため、 $3.0\text{m}^3/\text{h}$ に調整。
 11/2 2:48～3:47 原子炉格納容器ガス管理システムにより採取したガスの核種分析を行ったところ、短半減期核種の検出の可能性があることから、原子炉にホウ酸水を注水
 11/3 16:50 原子炉格納容器からの排気ガスの水素濃度が上昇傾向にあるため、原子炉格納容器内への窒素封入量を約 $26.0\text{m}^3/\text{h}$ に変更。
 11/4 9:38～11/8 15:00 タービン建屋トレンチにある滞留水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送
 11/4 14:20 窒素封入量とPCVガス管理システムからの排気量のバランスをとるため、PCVガス管理システムのガス排気量を約 $22.0\text{m}^3/\text{h}$ へ増加
 11/6 11:04 使用済燃料プール放射性物質除去装置の本格運転開始
 11/8 15:29～16:35 電源強化工事のため、窒素封入装置をDG電源駆動の装置へ切替
 11/8 16:24～20:47 電源強化工事のため、使用済燃料プール放射性物質除去装置を停止
 11/9 5:41～20:20 電源強化工事のため、使用済燃料プール代替冷却装置停止
 11/9 11:14～11:24 電源強化工事のため、PCVガス管理システム停止
 11/9 20:08 PCVガス管理システムのラインの切替を実施

主要な出来事6/6

11/12 14:15～15:06 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

<燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに海水注水(消防ポンプ)>

3/20 15:05～17:20、3/22 16:07～17:01、3/25 10:30～12:19

<燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水注水(仮設電動ポンプ)>

3/29 15:30～18:25、3/30 09:25～23:50 ※ポンプの不調、ホースの破損による中断含む、

4/1 14:56～17:05、4/4 11:05～13:37、4/7 13:29～14:34、4/10 10:37～12:38、

4/13 13:15～14:55、4/16 10:13～11:54、4/19 16:08～17:28、4/22 15:55～17:40、

4/25 10:12～11:18、4/28 10:15～11:28、5/2 10:05～11:40、5/6 9:36～11:16、5/10

13:09～14:45 (13:19～14:35ヒドラジンを併せて注入)、5/14 13:00～14:37 (13:08～14:02

ヒドラジンを併せて注入)、5/18 13:10～14:40 (13:15～14:30ヒドラジンを併せて注入)、

5/22 13:02～14:40 (13:04～14:03ヒドラジンを併せて注入)、5/26 10:06～11:36 (10:10～

11:10ヒドラジンを併せて注入)、5/30 12:06～13:52

<使用済燃料プール代替冷却浄化系から使用済燃料プールへヒドラジン注入>

7/25 12:29～13:27、7/26 11:15～12:52、8/24 10:35～12:29、9/5 10:59～12:47、9/28

10:39～12:22、10/17 10:28～12:06、10/31 10:12～11:50、11/14 13:29～15:14

福島第一原子力発電所3号機の状況 (11月15日 12:00現在)

主要な出来事1/5

既設冷却系配管と
代替冷却装置により
淡水を循環

除熱機能

プール水温度 21.9 °C

原子炉圧力A ダウンスケール※
(状況推移を継続5認中)
原子炉圧力C ダウンスケール※
(状況推移を継続確認中)

状態: ほぼ一定
※: 絶対圧に換算

原子炉水位A -2249mm
(状況推移を継続確認中)
原子炉水位B -2212mm
(状況推移を継続確認中)
状態: 燃料頂部から上記水位
が冠水していない。

原子炉水温度 - °C
状態: データなし

原子炉圧力容器温度:
給水ノズル温度 57.9°C
圧力容器下部温度 69.3°C

原子炉格納容器圧力:
0.1015MPa
※7/16 5:00より、データ記載
計器を変更

S/C水温A 40.9°C
S/C水温B 41.1°C
状態: ほぼ一定
S/C圧力 0.1884MPa
状態: ほぼ一定

外部
電源

非常用
発電機

除熱
機能

2回線確保

電源車
仮設DG

仮設電動
ポンプにより
淡水を注水

現状: プール及び炉心への注水を継続

- 3/11 14:46 運転中、地震により自動停止
- 3/11 15:42 10条通報(全交流電源喪失)
- 3/13 05:10 15条事象の発生(非常用炉心冷却装置注水不能)
- 3/13 08:41 ベント開始
- 3/13 09:10頃 格納容器圧力異常上昇
- 3/13 13:12 海水及びホウ酸の炉心注水開始
- 3/14 05:20 ベント開始
- 3/14 11:01 爆発音
- 3/16 08:30頃 白煙が発生
- 3/17 09:48~10:01 自衛隊ヘリによる放水
- 3/17 19:05頃~19:13 警察の高圧放水車による放水
- 3/17 19:35~20:09 自衛隊の消防車により放水
- 3/18 14:00頃~14:38 自衛隊消防車6台による地上放水
- 3/18 14:42~14:45 米軍消防車1台による地上放水
- 3/19 0:30~01:10 東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
- 3/19 14:10~3/20 03:40 東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
- 3/20 11:00 格納容器内圧力が上昇(320kPa)。その後、低下
- 3/20 21:36~3/21 03:58 東京消防庁ハイパーレスキュー隊放水
- 3/21 15:55頃 灰色がかった煙が発生。17:55に煙が収まっていることを確認
- 3/22 15:10~15:59 東京消防庁ハイパーレスキュー隊及び大阪市消防局放水
- 3/22 22:46 中央制御室の照明復帰
- 3/23 11:03-13:20 燃料プール冷却浄化系(FPC)から使用済燃料プール(SFP)に海水を注水
- 3/23 16:20頃 黒煙が発生。23:30頃及び3/24 04:50に煙の発生が止んでいることを確認
- 3/24 05:35~16:05 FPCからSFPに海水を注水
- 3/25 13:28~16:00 東京消防庁の支援を受けた川崎市消防局による放水
- 3/25 18:02 淡水の炉心注水開始
- 3/27 12:34~14:36 コンクリートポンプ車によりSFPへ放水(海水)
- 3/28 17:40~3/31 08:37 復水貯蔵タンク(CST)からサプレッションプール水サージタンク(SPT)へ移送
- 3/28 20:30 仮設電動ポンプでの炉心注水に切替
- 4/3 11:50 仮設電動ポンプの電源を仮設電源から外部電源に切替
- 4/11 17:16頃 地震発生(福島県浜通り)による1,2号機の外部電源喪失に伴い炉心注水停止
- 4/11 18:04 1,2号機の外部電源復旧(4/11 17:56)により、炉心注水再開
- 4/17 11:30~14:00 原子炉建屋において、無人ロボットによる状況確認等を実施
- 4/18 12:38~13:05 炉心注水に使用しているホースを新品に交換するため注水ポンプを停止
- 4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
- 4/22 13:40~14:00 FPCからSFPに淡水を試験注水
- 4/25 10:57~18:25 電源強化工事のため、炉心注水ポンプの電源を一時外部電源から仮設D/Gに切替
- 4/30 11:34 3,4号機の電源強化工事(6.6kVから66kVに昇圧)が完了

主要な出来事2/5

5/2 12:58～14:53 炉心注水ポンプへの警報設置のため、消防ポンプによる炉心注水に一時切替

5/8 16:18～5/10 5:41 原子炉給水系配管の工事のため、復水器の水をタービン建屋地下へ移送

5/11 8:47～15:55 大熊線2号線の復旧に伴い、炉心注水ポンプの電源を仮設ディーゼル発電機に一時切替

5/11 12:30頃 取水口付近の立坑に電源ケーブルを納めている管路を通じて水が流入していることを確認 → 16:05 立坑から水が海へ流出していることを確認 → 18:45 立坑内にコンクリートを打設することにより水の流出が停止

5/12 16:53 消火系配管に加え、給水系配管からの炉心注水を開始

5/15 14:33～17:00 原子炉圧力容器へホウ酸を注入

5/17 18:04～ タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送開始

5/18 16:30頃から10分程度 原子炉建屋内の事前調査を実施

5/25 9:10 移送ライン及び建屋の点検のため、タービン建屋地下の溜まり水の集中廃棄物処理施設への移送を一時中断

5/28 20:54 消火系配管からの炉心注水を停止

5/31 9:00～16:00 原子炉建屋内において、遠隔操作ロボットによる事前サーベイを実施

5/31 10:19 炉心注水量を約13.5m³/hから約12.5m³/hに変更

6/1 10:10 炉心注水量を約12.5m³/hから約11.5m³/hに変更

6/2 12:50～6/4 21:56 タービン建屋地下の溜まり水の移送準備のため、復水器の水を復水貯蔵タンクへ移送

6/3 13:16～13:32 炉心注水ラインのルート変更作業に伴い、冷却水注入を一時停止

6/5 18:26～6/9 10:44 タービン建屋内の溜まり水を復水器へ移送

6/9 11:47～12:14 原子炉建屋に入域し、線量測定等を実施

6/11 15:30～6/12 17:01 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

6/14 10:05～6/16 8:46 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

6/14 13:02～13:31 炉心注水用ホースの取替のため炉心注水を一時停止

6/18 13:31～6/20 0:02 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

6/19 11:03～15:22 大熊線2号線の停止作業の準備のため、炉心注水ポンプの電源を一時D/Gに切替

6/21 10:06 炉心注水量を約11.0m³/hから約10.0m³/hに変更

6/21 15:32～6/27 15:44 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

6/23 10:13 炉心注水量を約10.0m³/hから約9.5m³/hに変更

6/24 10:07 炉心注水量を約9.5m³/hから約9.0m³/hに変更

6/24 10:31～12:42 原子炉建屋においてロボットによる線量調査を実施

6/27 8:08～14:38 大熊線2号線の復旧作業のため、炉心注水ポンプの電源を一時D/Gに切替

6/27 16:20 原子炉の注水について、ろ過水タンクからの注水に加え、水処理設備で処理した水の利用を開始。配管からの漏えいを発見し、処理した水の供給停止(17:55)。処理水移送ポンプ起動(6/28 14:36)。処理した水の供給再開(6/28 15:55)

主要な出来事3/5

6/27 17:00～6/28 9:58 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

6/29 10:59～13:33 原子炉への循環注水冷却について、注水冷却用配管の漏えいを発見したため、処理水の供給を一時停止

6/30 8:56～7/9 14:49 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

6/30 10:43 使用済燃料プール代替冷却装置1次系のリークテストを実施。同装置の試運転を開始(18:33)

7/1 7:27～7/2 14:22 バッファタンクの設置・接続作業のため、処理水側の給水を一時停止(7/2 14:22～18:00 リークチェックに伴うバッファタンクから炉心へ試験注水 18:00～本格注水)

7/1 11:00 使用済燃料プール代替冷却装置の本格運転開始

7/1 11:43～16:36 原子炉建屋において、ロボットによる清掃作業を実施

7/2 10:59～12:14 原子炉建屋において、ロボットによる線量調査を実施

7/3 8:30～16:00 原子炉建屋大物搬入口付近に鉄板(51枚)を敷設

7/8 13:35～13:44 原子炉建屋に入域し、窒素封入箇所の事前調査を実施

7/9 15:22 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送するラインのフラッシングを開始

7/10 15:15～7/15 11:11 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

7/14 20:01 窒素封入開始

7/16 10:50～7/21 15:59 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

7/18 8:30～14:40、7/19 8:30～15:00、7/22 8:30～15:30
タービン建屋屋上開口部の仮屋根の取付作業を実施

7/22 16:53～7/29 9:48 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

7/23 3:24～11:45 夜の森線2回線復旧工事のため、SFP代替冷却装置を一時停止

7/26 11:15～13:00 原子炉建屋において、ロボットによる線量調査を実施

7/27 12:00～12:40 原子炉建屋に入域し、現場確認及び線量調査を実施

7/27 18:10 原子炉注水量について、注水ポンプ1台で9.0m³/hに調整。

7/30 16:13～8/4 7:17 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

8/3 5:52～8:29 窒素封入装置の予備機入替のため、窒素封入を一時停止

8/5 8:42～8/15 16:46 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

8/5 16:44～17:35 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

8/7 7:19 原子炉注水量が9.5m³/hまで増加したため、9.0m³/hに調整

8/10 16:22 原子炉注水量が8.8～8.9m³/hまで低下したため、9.1m³/hに調整

8/12 19:30 原子炉注水量が9.5m³/hまで増加したため、9.0m³/hに調整

8/18 7:38 原子炉注水について、DG電源の予備ポンプへの切替を実施(注水量を9.1m³/hに調整)

8/18 12:20 原子炉注水についてDG電源の予備ポンプから常用ポンプへの切替完了(流量は9.0m³/h)

8/18 12:27 原子炉注水量を9.0m³/hから8.0m³/hに調整

8/19 8:51～8/21 9:28 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

8/20 13:00 原子炉注水量を8.0m³/hから7.0m³/hに調整

主要な出来事4/5

8/21 9:39～8/24 9:30 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

8/23 16:15～8/30 9:46 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

8/23 18:04～18:44 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

8/28 11:05～12:12 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

8/30 9:54～9/8 9:11 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

8/31 11:30～13:00 コアスプレー系ラインによる原子炉への注水を行うために、フレキシブルホースを設置

9/1 14:09 コアスプレー系ラインから原子炉への注水流量の調整を開始。その後、流量を1.0m³/hに調整(9/1 14:58)

9/1 18:45 給水系からの注水量の低下およびコアスプレー系ラインからの注水量が増加したため、給水系からの注水量を7.0m³/h、コアスプレー系ラインからの注水量を1.0m³/hに調整

9/2 14:50 給水系からの注水量を7.0m³/h、コアスプレー系ラインからの注水量を2.0m³/hに調整

9/3 14:37 コアスプレー系ラインからの注水量を3.0m³/hに調整

9/5 14:43 給水系からの注水量を7.0m³/hから6.0m³/hに調整

9/7 14:46 給水系からの注水量を6.0m³/hから5.0m³/hに調整

9/8 9:30～9/11 9:35 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

9/11 10:00～9/15 9:44 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

9/12 14:01 給水系からの注水量を5.0m³/hから4.0m³/hに調整

9/13 16:45～17:24 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

9/15 9:54～9/30 9:46 タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

9/16 10:16～14:15 原子炉へホウ酸水注入

9/16 15:05 コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を3.0m³/hから8.0m³/hに調整

9/18 10:54～11:31 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

9/22 15:17 給水系から原子炉への注水量を3.8m³/hから3.0m³/hに、コアスプレー系ラインから原子炉への注水量を8.1m³/hから8.0m³/hに調整

9/30 10:00～10/12 13:16 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

10/3 19:59～10/9 10:22 復水器の水をタービン建屋地下へ移送

10/12 8:41～10:08 原子炉建屋開口部でダストサンプリングを実施

10/13 14:02～10/18 9:16 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

10/19 16:43～17:29 スキマサージタンクへの水張りのため、循環冷却系を用いた淡水注入

10/20 10:00～10/28 9:16 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

主要な出来事5/5

10/26 9:47 電源強化工事に伴い常用高台ポンプを停止するため、非常用高台ポンプへの切り替えにあわせて原子炉注水量を給水系で3.0m³/h、コアスプレー系で8.0m³/hにそれぞれ調整。その後、非常用高台ポンプから常用高台ポンプへの切り替え完了(同日16:10)

10/26 10:06～11:28 原子炉注水量調整弁の取り替えを実施

11/2 10:11～11/8 15:05 タービン建屋地下の溜まり水を雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送

11/3 5:53～6:12 スキマサージタンクへの水張りのため、使用済燃料プールに淡水注入

11/4 6:35～6:51 スキマサージタンクへの水張りのため、使用済燃料プールに淡水注入

11/5 11:25～14:00 原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施

11/8 15:29～16:35 電源強化工事のため、窒素封入装置をDG電源駆動の装置へ切替

11/8 16:05 給水系から原子炉への注水量が2.3m³/hまで低下したため、3.0m³/hに調整

11/9 9:22～12:55 原子炉建屋上部のダストサンプリングを実施

11/15 9:25～ タービン建屋地下の溜まり水を集中廃棄物処理施設へ移送

<コンクリートポンプ車により使用済燃料プールへ淡水放水>

3/29 14:17～18:18、3/31 16:30～19:33、4/2 09:52～12:54、4/4 17:03～19:19、4/7 06:53～8:53、4/8 17:06～20:00、4/10 17:15～19:15、4/12 16:26～17:16、4/14 15:56～16:32、4/18 14:17～15:02、4/22 14:19～15:40、4/26 12:25～14:02

<燃料プール冷却浄化系から使用済燃料プールに淡水注水(仮設電動ポンプ)>

5/8 12:10～14:10、5/9 12:14～15:00(12:39～14:36ヒドラジンを併せて注入)、5/16 15:00～18:32(15:10～17:30ヒドラジンを併せて注入)、5/24 10:15～13:35(10:20～12:56ヒドラジンを併せて注入)、5/28 13:28～15:08(13:42～14:40ヒドラジンを併せて注入)、6/1 14:34～15:54(14:41～15:26ヒドラジンを併せて注入)、6/5 13:08～15:14(13:14～14:16ヒドラジンを併せて注入)、6/9 13:42～15:31(13:45～14:40ヒドラジンを併せて注入)、6/13 10:09～11:48(10:13～11:36ヒドラジンを併せて注入)、6/17 10:19～11:57(10:23～11:31ヒドラジンを併せて注入)、6/26 9:56～11:23(ホウ酸水)、6/27 15:00～17:18(ホウ酸水)、6/29 14:45～15:53

<使用済燃料プール代替冷却装置による冷却>

7/1 11:00～7/8 8:20、7/8 14:24～7/21 8:02、7/21 14:52～7/22 7:10、7/22 11:50～7/23 3:24、7/23 11:45～9/30 15:00、9/30 19:26～11/7 14:30、11/7 19:17～

<使用済燃料プール代替冷却浄化系から使用済燃料プールへヒドラジン注入>

7/29 11:55～13:29、7/30 11:12～12:57、8/18 11:06～13:00、8/30 11:05～13:00、9/29 13:20～15:10、9/29 13:20～15:10、10/13 13:05～14:50、10/27 13:30～15:08

福島第一原子力発電所4号機の状況

(11月15日 12:00現在)

主要な出来事1/2

定検停止中

既設冷却系配管と
代替冷却装置により
淡水を循環

除熱機能

プール水温度: 31℃
※仮設の熱電対の測定値を記載
(11/15 11:00現在)。

原子炉内に
燃料体なし

外部
電源

2回線確保

非常用
発電機

電源車
仮設DG

除熱
機能

原子炉内に燃料体
ないため除熱不要

現状: 原子炉圧力容器に燃料体が存在しない
プールへの注水を継続

地震発生時、定期検査により停止中

- 3/14 04:08 使用済燃料プール温度84℃
- 3/15 06:00～06:10頃 4Fの壁が一部破損の確認
- 3/15 09:38 3階部分で火災(12:25鎮火)
- 3/16 05:45 4号機で火災。事業者によると現場での火は確認できず(06:15)
- 3/20 08:21～09:40 自衛隊による使用済燃料プール(SFP)への放水
- 3/20 18:30～19:46 自衛隊によるSFPへの放水
- 3/21 06:37～08:41 自衛隊によるSFPへの放水
- 3/21 15:00頃 パワーセンターまでのケーブル敷設完了
- 3/22 10:35 パワーセンター受電
- 3/25 06:05～10:20 使用済燃料プール冷却系(FPC)からSFPIに海水を注入
- 3/29 11:50 中央制御室の照明復帰
- 4/12 12:00～13:04 SFP内の水のサンプリング作業を実施
- 4/19 10:23 1,2号機と3,4号機間の電源連携強化作業が完了
- 4/22 コンクリートポンプ車(62m級)を用いて計測装置を吊り下げ、使用済燃料プールの水位等を測定
- 4/30 11:34 3,4号機の電源強化工事(6.6kVから66kVに昇圧)が完了
- 5/9 使用済燃料プール底部支持構造物の設置工事の作業開始
- 6/10 14:00頃～30分程度 原子炉建屋に入域し、SFP代替冷却配管工事のための作業環境等の調査を実施
- 6/29 13:28～14:21 原子炉建屋に入域し、SFP代替冷却配管工事のための作業環境等の調査を実施
- 7/6 10:20～10:30 SFP代替冷却工事の準備を実施
- 7/8 10:00～11:30 SFP代替冷却工事に関し、配管の健全性確認を実施
- 7/27 10:20～13:00 SFP代替冷却装置1次系のリークテストを実施
- 7/27 10:50～11:37 SFP代替冷却装置2次系の試運転を実施。
- 7/28 10:09～10:57 SFP代替冷却装置1次系の耐圧試験を実施
- 7/28 10:55～11:53 SFP代替冷却装置2次系の試運転を実施。
- 7/31 12:44 SFP代替冷却装置の本格運転開始
- 8/17 7:58～15:00 SFP代替冷却装置1次系ホース交換のため、SFP代替冷却装置を一時停止
- 8/20 10:24～ SFP塩分除去装置の試運転開始。
- 8/20 11:34 SFP塩分除去装置の本格運転開始。
- 8/20 14:16～14:19 SFP代替冷却システム2次系の系統加圧を実施。
- 8/22 10:34～18:26 濃縮水タンクの水位低下警報発生のためSFP塩分除去装置停止
- 8/31 使用済燃料プールライナードレンに水が溜まっていることを確認
- 9/14 9:47～12:25 電気透析装置接続のためSFP塩分除去装置停止
- 10/3 8:54～15:03 配管取替作業のため、SFP代替冷却装置2次冷却系を停止
- 11/8 0:25 ROユニット漏えい警報発生のためSFP塩分除去装置停止

主要な出来事2/2

<コンクリートポンプ車により使用済燃料プールへ放水(海水)>

3/22 17:17～20:32、3/23 10:00～13:02、3/24 14:36～17:30、3/25 19:05～22:07、3/27 16:55～19:25

<コンクリートポンプ車により使用済燃料プールへ放水(淡水)>

3/30 14:04～18:33、4/1 08:28～14:14、4/3 17:14～22:16、4/5 17:35～18:22、4/7 18:23～19:40、4/9 17:07～19:24、4/13 0:30～6:57、4/15 14:30～18:29、4/17 17:39～21:22、4/19 10:17～11:35、4/20 17:08～20:31、4/21 17:14～21:20、4/22 17:52～23:53、4/23 12:30～16:44、4/24 12:25～17:07、4/25 18:15～翌0:26、4/26 16:50～20:35、4/27 12:18～15:15、5/5 12:19～20:46、5/6 12:38～17:51、5/7 14:05～17:30、5/9 16:05～19:05(16:11～18:38ヒドラジンを併せて注入)、5/11 16:07～19:38(16:14～19:36ヒドラジンを併せて注入)、5/13 16:04～19:04(16:20～18:41ヒドラジンを併せて注入)、5/15 16:25～20:25(16:26～18:30ヒドラジンを併せて注入)、5/17 16:14～20:06(16:40～18:35ヒドラジンを併せて注入)、5/19 16:30～19:30、5/21 16:00～19:56(16:23～19:00ヒドラジンを併せて注入)、5/23 16:00～19:09(16:08～18:30ヒドラジンを併せて注入)、5/25 16:36～20:04(16:42～18:49ヒドラジンを併せて注入)、5/27 17:05～20:00(17:24～18:53ヒドラジンを併せて注入)、5/28 17:56～19:45(18:02～19:45ヒドラジンを併せて注入)、6/3 14:35～21:15(14:44～18:58ヒドラジンを併せて注入)、6/4 14:23～19:45(14:51～18:41ヒドラジンを併せて注入)、6/6 15:56～18:35(16:15～17:45ヒドラジンを併せて注入)、6/8 16:12～19:41(16:16～18:05ヒドラジンを併せて注入)、6/13 16:36～21:00(16:38～19:15ヒドラジンを併せて注入)、6/14 16:10～20:52(16:11～19:15ヒドラジンを併せて注入)

<仮設放水設備により使用済燃料プールへ注水(淡水)>

6/16 13:14～15:44(13:48～15:18ヒドラジンを併せて注入)、6/18 16:05～19:23(16:29～18:33ヒドラジンを併せて注入)、6/22 14:31～16:38、6/30 11:30～11:55、7/31 8:47～9:38、8/1 8:06～8:48、8/2 17:05～17:37、8/4 15:42～16:02、8/7 15:56～16:27、8/10 13:08～13:47、8/13 10:56～11:44、8/14 16:14～16:41、8/16 16:15～17:03、8/17 15:38～16:00、8/18 17:19～17:50、8/24 11:56～12:37、8/26 16:52～17:28、8/28 16:04～16:37、8/30 16:05～16:37、9/3 16:20～17:08、9/6 16:09～16:52、9/9 14:34～15:14、9/12 16:06～16:48、9/16 10:35～11:19、9/18 16:18～17:02、10/3 13:34～14:41、10/31 15:32～16:12、11/12 15:42～16:21

<機器仮置きプール(DSP)の水張り>

6/19 9:14～11:57、6/20 9:49～9:52、6/20 10:06～6/21 11:29、6/21 11:45～12:52、6/22 8:23～14:31、6/23 9:32～15:29、6/28 9:40～15:29、7/4 9:13～18:18、7/8 8:22～13:52、7/12 11:22～12:03、7/13 11:50～12:45、7/15 13:05～19:15、7/16 11:22～15:52、7/20 11:15～15:39、7/24 10:37～15:20、7/28 14:33～18:50、7/30 13:16～14:47

<使用済燃料プール代替冷却浄化系から使用済燃料プールへヒドラジン注入>

8/12 12:12～14:07、9/1 11:00～13:00、9/27 13:57～15:48、10/7 10:32～12:32、10/20 13:01～14:41、11/2 10:16～12:10

福島第一原子力発電所5号機の状況

(11月15日 12:00現在)

定検停止中

主要な出来事

既設冷却系
による除熱

除熱機能

プール水温度23.3℃
状況: 除熱機能が回復

原子炉圧力: 0.111MPa※
原子炉水位: 1828mm
原子炉水温度: 25.8℃
状況: 操作により圧力等を制御中。
※: 絶対圧に換算

原子炉圧力容器温度:
原子炉水温度にて監視中。

外部電源

2回線確保

非常用
発電機

6号機非常
用DG2台を
共用
5号機非常
用DG2台が
待機状態

除熱機能

残留熱除去系
による除熱

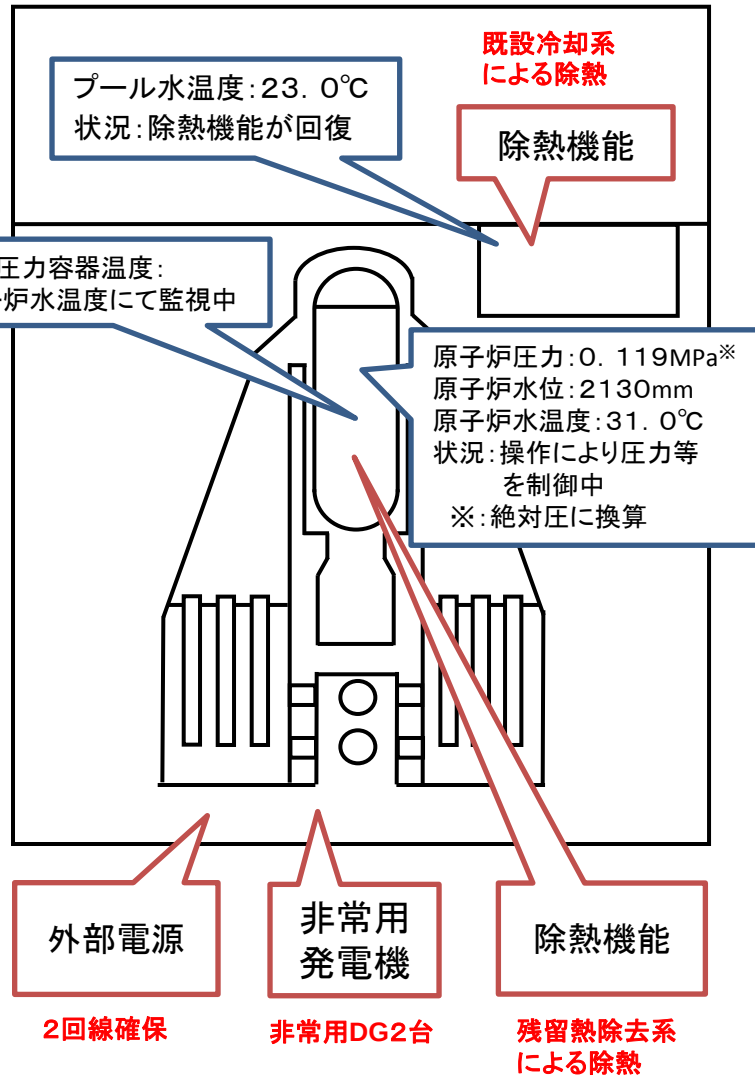
- 3/20 14:30 冷温停止
- 3/21 11:36 外部電源から受電開始
- 3/23 17:24 残留熱除去海水系(RHRS)ポンプが、仮設から本設の電源への切り替えの際に自動停止
- 3/24 16:14 RHRSポンプの修理完了
- 3/24 16:35 冷却開始
- 4/5 17:25~4/8 12:14 サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出(約950t)
- 4/25 12:22~16:43 電源強化工事に伴い、残留熱除去系(RHR)ポンプを一時停止
- 4/25 14:44~17:38 電源強化工事(1,2号機と5,6号機間の電源連系)を実施
- 5/2 12:00~15:03 起動変圧器の受電試験に伴い、RHRポンプを一時停止
- 5/28 21:14頃 仮設RHRSポンプの停止を確認
- 5/29 8:12 予備のRHRSポンプへの交換作業を開始
- 5/29 12:31 仮設RHRSポンプ起動
- 5/29 12:49 RHRにより炉心の冷却開始
- 6/8 8:46~12:35 RHRSポンプ2台化工事により仮設RHRSポンプ等一時停止
- 6/24 16:35 燃料プール冷却浄化系による使用済燃料プールの冷却を開始
- 6/27 18:03 非常用ディーゼル発電機(D/G)5Aが待機状態に復帰
- 6/28 12:32 非常用ディーゼル発電機(D/G)5Bが待機状態に復帰
- 6/30 10:02~11:48 RHRポンプを付属機器の電源切替のため一時停止
- 7/3 10:00~13:36 仮設RHRSポンプ出口配管補修のため一時停止(10:20~13:22 仮設RHRS(B)ポンプ一時停止)
- 7/3 10:15~13:40 RHRポンプ一時停止
- 7/11 夜の森線2回線復旧工事のため、D/G5A起動(3:03)・停止(9:07)、D/G5B起動(3:37)・停止(14:44)
- 7/11 5:01~13:44 夜の森線2回線復旧工事のため、夜の森線からの受電を一時停止
- 7/13 6:30~10:58 RHRSポンプのホース交換のため、RHRポンプを一時停止
- 7/15 RHRS(D)ポンプのテストランを実施(10:16)、RHR(C)ポンプ停止(14:25)、RHR(D)ポンプ起動(14:45)
- 7/16 夜の森線2回線復旧工事のため、DG/5B起動(4:01)・停止(13:05)
- 7/16 5:28~12:05 夜の森線2回線復旧工事のため、夜の森線からの受電を一時停止
- 7/17 夜の森線2回線復旧工事のため、D/G5B起動(3:08)・停止(16:02)
- 7/17 4:24~13:20 夜の森線2回線復旧工事のため、夜の森線からの受電を一時停止
- 8/8 10:03~10:43 RHR(C)の本設電源切替後の確認運転のためRHR(D)を一時停止
- 9/26 残留熱除去海水系ポンプ(D)出口弁修理のため、RHR(B)ポンプ停止(9:45)、RHR(A)ポンプ起動(10:42)
- 9/30 残留熱除去海水系ポンプ(D)出口弁修理が完了したため、RHR(A)ポンプ停止(11:30)、RHR(B)ポンプ起動(11:34)
- 10/20 9:05~14:32 取水口点検のため使用済燃料プール冷却停止。
- 10/20 9:13~15:02 取水口点検のため原子炉冷却停止。

福島第一原子力発電所6号機の状況

(11月15日 12:00現在)

定検停止中

主要な出来事1/3



- 3/20 19:27 冷温停止
3/22 19:17 外部電源から受電開始
4/4 21:00~4/9 18:52 サブドレンピットの低レベルの地下水を海洋に放出(約373t)
4/19 11:00~15:00 タービン建屋地下の溜まり水を復水器へ移送
4/20 9:51~15:56 仮設残留熱除去海水系(RHRS)のホースの位置を変更するため、残留熱除去系(RHR)ポンプを一時停止
4/25 14:44~17:38 電源強化工事(1,2号機と5,6号機間の電源連系)を実施
5/2 11:03~15:03 起動変圧器の受電試験に伴い、RHRポンプを一時停止
6/28 12:00頃 タービン建屋地下の溜まり水を移送し溜めていた仮設タンクから、低濃度の汚染水が漏れいしていることを確認
7/11 夜の森線2回線復旧工事のため、D/G6A起動(4:17)・停止(15:42)、D/G6B起動(4:31)・停止(16:36)
7/11 5:01~13:44 夜の森線2回線復旧工事のため、夜の森線からの受電を一時停止
7/16 夜の森線2回線復旧工事のため、DG/6B起動(4:21)・停止(13:51)
7/16 5:28~12:05 夜の森線2回線復旧工事のため、夜の森線からの受電を一時停止
7/17 夜の森線2回線復旧工事のため、D/G6B起動(3:28)・停止(16:02)
7/17 4:24~13:20 夜の森線2回線復旧工事のため、夜の森線からの受電を一時停止
7/19 8:03~9:08 RHRSポンプ周辺の吊りワイヤの当てゴム交換のため、RHRS(A)(B)ポンプを一時停止
8/9 9:27~14:01 RHRSの分岐ライン設置のため、ポンプを一時停止
8/18 8:35~ 補機冷却海水系ポンプ(A)の試運転を開始。その後、配管からの海水の漏えいを確認したため、手動停止(同日10:06頃)
9/8 9:55~12:39 RHRSポンプ(C)の水張りのため、RHRS(B)ポンプを一時停止
9/10 14:29 RHR(B)停止
9/10 15:12 RHR(A)起動
9/15 9:56 補機冷却海水系ポンプ(A)を復旧し、起動。その後、定格運転開始(10:08)
9/15 13:45 原子炉補機冷却系の運転開始
9/15 14:33 燃料プール浄化系によるプール冷却の開始
10/3 11:20~12:44 RHRS(C)ポンプの吐出圧力が低下したため、RHR(A)を停止
10/6 13:41~14:07 補助冷却海水系ポンプのヘッダ圧力に緩やかな低下傾向がみられたため、ポンプを一時停止
10/7 11:55 RHRSC)ポンプにおいて流量の低下傾向が確認されたため、RHR(A)を停止。その後、RHRS(C)と当該系統の点検を行い、異常がないことを確認し、RHR(A)を再起動(同日12:41)
10/14 14:42 RHRSポンプ(C)において流量の低下傾向が確認されたため、RHR(A)を停止。その後、RHR(A)を再起動(同日15:23)。所定の性能にほぼ復帰
10/19 14:30 RHRSポンプ(C)の流量及び圧力に低下傾向が確認されたため、RHR(A)による原子炉冷却を停止し、RHRS(C)を停止(同日14:31)。その後、RHRS(C)を再起動(同日14:53)し、当該ポンプが所定の性能にほぼ復帰したため、RHR(A)による原子炉冷却を再開(同日15:02)。
10/21 9:05~16:01 取水口点検のため使用済燃料プール冷却停止。
10/21 9:13~15:55 取水口点検のため原子炉冷却停止。

主要な出来事2/3

11/15 6:44～ 海水ポンプ室清掃作業のため、RHR(A)を停止
 11/15 6:47～ 海水ポンプ室清掃作業のため、ASW(A)を停止

＜タービン建屋地下の溜まり水の仮設タンクへの移送＞

5/1 14:00～17:00、5/2 10:00～16:00、5/3 14:00～17:00、5/6 14:00～17:00、5/7 10:00～15:00、5/9 14:00～17:00、5/10 10:00～16:00、5/11 10:00～16:00、5/12 10:00～16:00、5/13 10:00～15:00、5/14 10:00～15:00、5/15 10:00～15:00、5/16 10:00～14:00、5/17 10:00～14:00、5/18 10:00～14:00、5/21 14:00～18:00、5/24 9:00～19:00、5/25 9:00～19:00、5/26 9:00～19:00、5/27 9:00～19:00、5/28 9:00～19:00、5/29 9:00～19:00、5/30 10:00～17:30、6/2 14:00～(6/5 14:00～14:45 一時停止)～6/8 18:00、6/9 9:00～18:00、6/11 10:00～15:00、6/12 10:00～15:00、6/13 10:00～16:00、6/14 10:00～16:00、6/15 10:00～16:00 6/16 10:00～16:00、6/17 10:00～16:00、6/18 10:00～16:00、6/19 10:00～16:00、6/20 10:00～16:00、6/21 10:00～16:00、6/22 10:00～16:00、7/1 10:00～7/3 16:00、7/4 10:00～16:00、7/5 10:30～16:30、7/6 10:00～17:00、7/7 10:30～16:30、7/8 10:30～16:30、7/9 10:30～16:30、7/11 10:30～16:30、7/21 11:00～7/22 18:00、7/23 11:00～18:00、7/24 11:00～16:00、7/26 11:00～7/27 16:00、7/28 11:00～16:00、7/29 10:00～17:00、7/30 11:00～16:00、7/31 11:00～16:00、8/2 11:00～16:00、8/3 11:00～16:00、8/5 11:00～16:00、8/6 11:00～17:00、8/8 11:00～16:00、8/9 11:00～8/10 17:00 8/11 10:00～16:00、8/12 10:00～16:00、8/15 11:00～8/16 9:00、8/18 10:00～17:00、8/19 10:00～13:00、8/23 10:00～8/24 16:00、8/25 10:00～16:00、8/26 10:00～16:00、8/29 10:00～16:00、9/1 10:00～16:00、9/12 11:30～16:00、9/13 10:00～16:00、9/20 10:00～16:00、9/21 10:00～16:00、9/22 10:00～16:00、9/24 10:00～16:00、9/26 10:00～16:00、9/28 10:00～16:00、9/29 10:00～16:00、9/30 10:00～16:00、10/3 10:00～16:00、10/5 10:00～16:00、10/7 10:00～16:00、10/12 10:00～16:00、10/14 10:00～16:00、10/18 10:00～16:00、10/22 10:00～16:00、10/26 10:00～16:00、10/30 10:00～16:00、11/3 10:00～16:00 11/6 10:00～16:00 11/9 10:00～16:00、11/13 10:00～16:00

＜原子炉建屋地下の溜まり水の廃棄物処理建屋への移送＞

5/10 11:00～12:30、5/11 11:00～12:30、5/12 10:30～12:30、5/13 11:30～12:15、5/18 10:30～12:30、5/28 10:20～12:10、6/8 10:05～12:40、6/15 11:55～14:00、6/21 11:05～13:30、6/28 11:00～13:20、7/6 8:45～10:50、7/13 8:40～10:50、7/18 9:00～10:30、7/26 11:00～12:00

主要な出来事3/3

＜仮設タンクからメガフロートへの移送＞

6/30 13:00～19:00、7/1 10:00～7/3 16:00、7/4 13:30～17:00、7/5 10:00～17:00、7/7 10:09～17:00、7/8 10:00～17:00、7/9 10:00～17:00、7/11 10:00～17:00、7/12 11:00～16:00、7/13 10:00～17:00、7/14 10:00～17:00、7/15 10:00～17:00、7/16 10:00～15:00、7/27 10:00～10:45、7/28 10:00～17:00、7/30 10:00～17:00、7/31 10:00～17:00、8/2 10:00～17:00、8/3 10:00～17:00、8/5 10:00～17:00、8/6 10:00～17:00、8/8 10:00～17:00、8/9 10:00～10:12、8/9 13:35～8/12 17:00、8/13 17:00～8/14 10:00、10/19 10:00～16:00、10/20 14:00～15:00、10/21 10:00～16:00、10/24 10:00～11:30、10/25 10:00～11:30、10/27 10:00～16:00、10/28 10:00～16:00、10/31 10:00～16:00、11/1 10:00～16:00、11/2 10:00～15:00

＜原子炉建屋地下の溜まり水をタービン建屋へ移送＞

9/2 11:05～12:00、9/3 8:30～9:55、9/4 8:30～9:55、9/8 13:20～14:45、9/9 10:00～11:15、9/12 10:15～11:30、9/13 9:30～13:36、10/14 10:00～10:12、10/19 10:36～11:17、10/21 10:12～10:40、10/24 10:19～11:41